

7.23 最古の老朽原発 高浜1号うごかすな！緊急集会 ～国と関電の暴走とめよう～

●プログラム

14:00 開会

■司会あいさつ

★関電にむかってコール★

■主催者あいさつ

■老朽原発とのたたかい

- ◇高浜原発 地元から
- ◇美浜原発 地元から
- ◇東海第二原発 地元から
- ◇川内原発 地元から
- ◇老朽原発とたたかう弁護士（北村栄弁護士）

■全国各地から

★関電にむかってコール★

■カンパのお願い

■関西各地から

- ◇滋賀 / 彦根・愛知・犬上 原発のない社会をつくる会
- ◇京都 / バイバイ原発きょうと・呼びかけ人
- ◇大阪 / 原発ゼロの会・大阪
- ◇大阪 / ストップ・ザ・もんじゅ
- ◇兵庫 / 原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会
- ◇奈良 / 原発ゼロ・奈良のつどい実行委員会

■労働組合から

- ◇おおさかユニオンネットワーク
- ◇大阪平和人権センター
- ◇全労連近畿ブロック

■集会決議

■デモの説明

★関電にむかってコール★



<トイレ情報>

- ▶関電の西側、道路を挟んだ向かい側に黒い建物がたっています。
- ▶これは「大阪市立中之島美術館」で、1階にトイレがあります。建物東側（関電に面した側）の玄関を入ってすぐです。

15:30 閉会 ➡ 歩いて西梅田公園に移動 ➡ 16:00 デモのスタート ➡ 梅田
(関電本店から北へ500m) (解散17:00すぎ)

主催：老朽原発うごかすな！実行委員会

連絡先：090-1965-7102

7.23 最古の老朽原発 高浜1号うごかすな！緊急集会 集会決議（案）

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増することは多くが指摘するところです。

それでも、岸田政権は数を頼んで、原発関連法案を、まともな審議もせずに5月末に改悪しました。原発の60年超え運転を認め、原発の運転期間の判断を原発推進の経産省に委ね、原子力の憲法・原子力基本法に「原発推進を国の責務とする」の一項を加えました。「原発依存社会」に向かっただけの暴走です。なお、世界にも、60年を超えて運転した原発はありません。最長でも53年です。地震、火山噴火、津波の多発する日本での60年超え運転は、無謀で、福島原発事故の犠牲と教訓を蹂躪するものです。

そもそも、岸田政権の「原発依存社会」への暴走は、福島原発事故以降の政権が、事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわり、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結末です。日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれています。先見の明がある政権であったなら、原発に費やされた膨大な税金や電気料金を、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回し、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。

一方、岸田政権のお先棒を担ぐ関電は、運転開始後46年を超えた老朽原発・美浜3号機を稼働させ、48年超えで日本最古の原発・高浜1号機を7月28日に、47年超えの高浜2号機を9月中旬に再稼働させると発表しています。

その関電は、トラブル、不祥事、約束違反を頻発させる企業倫理のかけらも持たない企業です。例えば、関電は、使用済み核燃料の中

間貯蔵候補地探しについて、何の成算も無く「空約束」を繰り返し、約束を反故にしています。一昨年2月にも、候補地提示期限を「2023年末まで」と先送りし、「この期限が守られなければ老朽原発を停止する」としていますが、未だに候補地を見出していません。切羽詰まった関電は、使用済みMOX燃料の一部を、電気事業連合会が行うMOX燃料再処理実証試験に供するために、フランスに持ち出すから「約束は果たした」としていますが、搬出量は、福井県内の原発で保管する使用済み核燃料のわずか5%に過ぎません。「小手先」の策を弄した詭弁としか言いようがありません。

現在科学技術で制御できない原発を、無理矢理稼働させようとするから、トラブル、不祥事、約束違反が頻発し、人々を欺かなければならなくなるのです。

岸田政権や関電がどう願望し、法律をどう変えようとも、経済的利益や政治的思惑で原発の老朽化を防ぐ技術、安全性を高める技術、使用済み核燃料の処理・処分技術が急に向上することはありません。

「原発依存社会」に暴走すれば、過酷事故の確率が急増します。また、使用済み核燃料が溜り続けますが、その貯蔵を引き受ける所もありません。

「原発推進法案」が成立しても、実行させない、老朽原発の運転を認めない闘いを前進させましょう！

本日、緊急集会に結集した私たちは、12月3日に1万人の結集を目指して大阪で開催される、起死回生の大闘争を頂点とする、目に見え、耳に聞こえる闘いを波状的に成功させ、老朽原発の完全廃炉を勝ち取り、それを突破口に、原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会の実現を目指すことを決議します。

2023年7月23日

「最古の老朽原発・高浜1号うごかすな！緊急集会」参加者一同